



# 食農の次世代を見据えたプロ養成講座



## 食Pro.制度事務局が開催する、唯一の食Pro.プロ級養成の場

商品開発・販路開拓から一歩進めた、食農ビジネスの将来像、イノベーション、エコシステム、循環型社会形成、関係人口、事業予算確保（マネタイズ）、事業計画や戦略策定のノウハウを学び、食Pro.プロ級や上位級の合格を目指しませんか。

### 【対象】

- 食Pro.プロ級合格を目指す方
- 上記段位を目指す食Pro. レベル段位認定者、
- 事業者さま・法人さま（食農ビジネス部門スタッフの社内研修の一環として利用）
- 食農ビジネス分野で更なるノウハウやスキルを身に着けたい方 など

【期 間】 2024年 9月～2025年 4月（全7回）

リモート(Zoom) 5回、対面ワーク 2回 ※詳しくはスケジュールをご確認ください。

【受講料】 ● 食Pro.レベル段位認定者 : 33,000 円（税込み）

● 一般（認定者以外） : 99,000 円（税込み）

※第1回のみ11,000円（税込み）にてお試しでの参加が可能です。その後、定員に

空きがあり、第2回以降の養成講座に参加をご希望の場合は、追加で正規受講料をお支払いいただきます。

【定 員】 先着 20 名限定（最低開催人数 8 名）

プロとして、  
次の戦略を  
実現する！

## 申し込み方法

- 下記のサイト内に申し込みフォームを設置しますので、フォームに沿って申し込みください。定員になり次第、受付を終了いたします。

● 申込期間：2024年7月22日（月）～8月30日（金）

URL : <https://ws.formzu.net/dist/S903611993/>

申込フォームはQRコードからもアクセス可能です。 ➔



- 2011年、将来の地域食農ビジネスを担う人材の育成と食農ビジネス分野の実践者や支援者、さらには分野をリードする人材を対象に、知識・実践的スキルを客観的に評価する検定制度として「食Pro.制度」は、実践キャリアアップ戦略・国家戦略プロフェッショナル検定として誕生しました。
- 制度開始から13年を経て、2024年7月現在、全国130機関が研修プログラムの認証を受けるとともに、高校生からプロフェッショナルに至る10,000人を超える段位認定者が輩出されています。
- 食Pro.制度を進めて来た13年の間には、農商工等連携や6次産業化、地方創生などの進展により地域食農ビジネスの浸透と一般化が大いに進みました。一方で食農分野を取り巻く社会背景は、人口減少や少子高齢化といった人口動態の変化を基盤に、グローバル化に伴う食料安全保障、エネルギー・原材料・商品価格の高騰、世界経済における日本のプレゼンス低下、雇用創出、人材確保、「持続可能な開発目標（SDGs）」に代表される環境負荷の低減など、次代に向けたさらなる課題への対応が求められています。
- 特に農山漁村の現場では、人口減少下における生産水準の向上や地域コミュニティの維持など、喫緊の課題を解決できる人材の育成・確保が急務となっています。
- 食Pro.制度では、これまでの地域における農林水産業や食品産業および食農ビジネスを基盤に、次なる展開を見据えた知識の習得、習得した知識の自身が行う業務への落とし込みによる実践的スキルの構築を目的に、「国家戦略プロフェッショナル検定 食の6次産業化プロデューサー（食Pro.）制度 食農の次世代を見据えたプロ養成講座」を開講いたします。

## 留意事項

### 〈食Pro.段位認定との関係性〉

- 養成講座の受講は、食Pro.制度におけるプロ級（レベル4、レベル5）の段位認定を保証するものではありません。

養成講座をつうじてプロ級審査に向けた考え方やノウハウ・スキルの向上を図ってください。

### 〈講座受講に係る事務的事項〉

- ZOOM接続環境が必要です。

各自、受講されるPC等の環境設定（画面・音声オン対応）をご準備ください（通信に係る費用は、各自ご負担ください）。

- 受講料は全7回の金額となり、入金確認後、参加証を発行いたします。

講座はスケジュールに従い実施しますので基本的には全7回のご出席をお願いいたします。

なお、講座では特に修了要件は設けていませんので、受講したい回のみのお出席を可とします。また、受講者専用講義の見逃し配信等のアーカイブもご用意いたします（Zoom開催分のみ）。

- 本講座の修了要件は定めません。

事前準備の実施と講座終了後の宿題を案内しますが、講師等が評価をするものではなく、修了要件ではありません。各々自己研鑽のつもりで取り組んでください。修了証の発行もありません。

## 講師等のご紹介



第1回講師  
**稲垣 公雄 氏**

株式会社三菱総合研究所食農分野  
担当本部長、VCPマネージャー  
(全社連携事業推進本部)

関西センター長、ものづくり事業革新センター長、経営イノベーション本部副本部長を経て、2021年より食農分野担当本部長。金融機関や製造業、サービス業でのコンサルティング経験を農業分野の社会課題解決につなげるべく、事業改革や組織のマネジメント改革、事業創出に従事。



第1回講師  
**松本 謙 氏**

株式会社ファーマーズ・フォレスト  
代表取締役社長

農場経営と直売流通、レストラン、温泉宿泊施設等を持つ、46haのファームパーク併設の道の駅うつのみやろまんちっく村や、アンテナショップ等の特産品販売流通事業を営む経営実務家。地域資源の総合プロデューサーで「農業と食のエンターテインメント」を提案する地域商社。



第2回講師  
**松田 高政 氏**

株式会社こうち暮らしの楽校 代表取締役 / 高知大学土佐FBC 特任准教授

高知県を中心に四国内の農山漁村調査、観光・特産品開発などの地域活性化事業を手がける。2007年、地域産品の商品開発・販路開拓のコンサルティングを行う株式会社こうち暮らしの楽校を設立。高知大学土佐FBCの特任准教授としてプログラム開発や受講生との連携など、リアルでの人材育成を進めている。



第3回講師  
**松田 恭子 氏**

株式会社結アソシエイト  
代表取締役

自治体や農水産業者、食品事業者を対象とした経営改善、6次産業化、連携構築、販売戦略・ブランド化を多数支援。上級農業経営アドバイザー、6次産業化エグゼクティブプランナー、地理的表示保護制度サポートデスクアドバイザー、地域食農連携（LFP）コーディネーターなど、地域、食、農の展開に精通するスペシャリスト。



第3回講師  
**宮崎 秀和 氏**

ライズエイジ コンサルティング  
代表

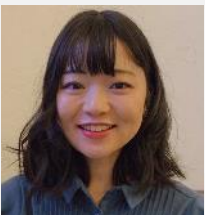
地域活性化、農商工等連携、6次産業化の支援などを中心に、新規事業立上げ、ビジネスモデル構築、コンセプト立案、商品開発支援、デザインコーディネート、販路コーディネート、ブランド化サポート等のマーケティング、事業計画策定支援など、地域、食、農の分野で幅広く支援活動を展開するとともに、多くの民間支援実績を有するスペシャリスト。



第4回講師  
**滝童内 裕樹 氏**

株式会社NTTデータ  
ソーシャルデザイン推進室

NTTデータ入社後、携帯キャリアの受付システム開発に従事。プロジェクトメンバーのエンゲージメント向上施策やシステム開発の枠を超えた取組を推進。大学でAI基礎研修の講師としても活動。現在はソーシャルデザイン推進室のメンバーとして地域活性化を推進中。



第4回講師  
**川村 悠華 氏**

be-en株式会社代表

京都大学大学院 農学研究科卒業後、味の素AGF株式会社商品開発部を経て、2022年9月be-en設立。組織に新しい風を起こし、共に成長するパートナーとして、発酵食品を中心とした製品のブランディング・研究開発支援に取り組む。また、発酵食品や地域の伝統食をテーマに地域食ブランディングの取組を支援している。



第5回講師  
**指出一正 氏**

株式会社ソトコト・ネットワーク  
執行役員『ソトコト』編集長

雑誌『Outdoor』編集部、『Rod and Reel』編集長を経て、現職。内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「人材組織の育成・関係人口に関する検討会」委員をはじめ、農林水産省「新しい農村政策の在り方検討会」委員など国・地方公共団体の検討会・審議会等委員を数多く務め、農山漁村における関係人口の構築についての知見を有する。



## 開催スケジュール 1

日時	講義・研修の内容
<p>第1回 9月10日（火） 13:30～16:30 〈Zoom開催〉</p>	<p><b>食農ビジネスの未来像、食農を超えた食料システム</b> ～これからのプロ人材像を描くとともに、食Pro.制度をとおしてプロを創る！～</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●講義① 13:45～14:30（45分） 稲垣 公雄氏 株式会社三菱総合研究所 食農分野担当本部長 VCPマネージャー（全社連携事業推進本部） （食農共創プロデューサーズ 理事）</li><li>●講義② 14:45～15:30（45分） 松本 謙氏 株式会社ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長 （レベル5 段位認定者、レベル認定委員、食農共創プロデューサーズ理事）</li><li>●パネルディスカッション・参加者との意見交流 15:30～16:30（60分） 講師2名×長谷川潤一 一般社団法人食農共創プロデューサーズ 代表理事</li></ul> <p>* 第1回の講座は、養成講座に参加するための背景理解を促す目的で、食Pro.制度で実施される「プロ級段位認定者の更新研修」を聴講いただきます。</p>
<p>第2回 9月28日（土） 10:00～12:00 〈Zoom開催〉</p>	<p><b>食農ビジネスの現場と最前線</b> ～トッププロ（食Pro.レベル6 段位認定者）の視点～</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●挨拶・本研修の狙いと出口：長谷川潤一</li><li>●講義 10:15～11:00（45分） 松田 高政氏 株式会社こうち暮らしの楽校 代表取締役 / 高知大学土佐 F B C 特任准教授 （レベル6 段位認定者、レベル認定委員）</li><li>●受講者との意見交換（60分） 食Pro.事務局がファシリテーターとなり、受講者との交流や現状の課題解決のアイデア出し、新たなビジネスの創出など、幅広い意見交換を行います。</li></ul>
<p>第3回 10月26日（土） 10:00～12:00 〈Zoom開催〉</p>	<p><b>食Pro.認定審査員が見てきたプロの要件と今後の視点</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●講義① 10:00～10:30（30分） 松田 恭子氏 株式会社結アソシエイト 代表取締役 （レベル4 段位認定者、レベル認定委員）</li><li>●講義② 10:30～11:00（30分） 宮崎 秀和氏 ライズエイジ コンサルティング 代表 （レベル4 段位認定者、認定審査員）</li><li>●受講者との意見交換（60分） 食Pro.事務局がファシリテーターとなり、制度の要件を踏まえた審査におけるポイント、実践的スキルを活用した食農ビジネスの展開など、幅広い意見交換を行います。</li></ul>

## 開催スケジュール2

日時	講義・研修の内容
<p>第4回 11月30日（土） 10:00～12:00 〈Zoom開催〉</p>	<p><b>地域の食農におけるエコシステムとソーシャルビジネス人材</b> ～発酵バレーNAGANOの展開を例に地域支援人材のあり方を考える！～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●講義① 10:00～10:30（30分） 滝童内 裕樹氏 株式会社NTTデータ ソーシャルデザイン推進室 （発酵バレーNAGANO 協賛事業者）</li> <li>●講義② 10:30～11:00（30分） 川村 悠華氏 be-en株式会社代表 （発酵バレーNAGANO 事務局）</li> <li>●受講者との意見交換（60分）</li> </ul>
<p>第5回 1月25日（土） 10:00～12:00 〈Zoom開催〉</p>	<p><b>関係人口の構築</b> ～食農連携のその先にある地域の未来～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●講義 10:00～10:45（45分） 指出 一正氏 株式会社ソトコト・ネットワーク 執行役員『ソトコト』編集長</li> <li>●受講者との意見交換（75分）</li> </ul>
<p>第6回 2月22日（土） 10:30～16:30 〈リアル開催〉 *株式会社パソナ農援 隊との連携開催 【開催場所】 パソナ農援隊東京本社 東京都港区南青山三 丁目1番30号</p>	<p><b>マネタイズを想定した食農ビジネスの戦略・事業計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●習得した知識を自身の取組に活かすためのワークショップ（300分） メイン講師：長谷川 潤一 食農共創プロデューサーズ 代表理事</li> </ul> <p>食Pro.事務局にストックされた多様なワークショップメソッドから、本研修オリジナルの戦略や計画策定、更にはマネタイズやキャッシュポイントの整理と調達方法等を、グループワークやパーソナルワーク形式でお教えいたします。</p>
<p>第7回 4月12日（土） 10:30～17:00 〈リアル開催〉</p> <p>【開催場所】 東京都内会議場 （調整中）</p>	<p><b>食Pro.プロ養成講座 成果報告会</b> ～習得した知識とスキルのプレゼンテーション～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●受講者プレゼンテーションとブレインストーミング（10:30～15:30） 〈アドバイザー〉 レベル認定委員、認定審査員、食Pro.プロ級段位認定者、本講座の講師等</li> <li>●食Pro.レベル4、レベル5 申請書への反映 食Pro.事務局</li> <li>●その他、情報交流や記念講義等を予定。</li> </ul> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●食Pro.関係者との交流会開催（17:30～）</li> </ul>

## 受講者の感想



都市部に出向かずして地方創生の最前線で活躍する様々な地域の専門家の今取り組まれている課題や、世界的なマーケットの動向についての知見を得ることができました。特に、自身が今取り組んでいる地域社会の課題解決に具体的で実践的な取り組みを還元できたことは大きな収穫です。

リアル開催でも一線で活躍される参加者同士の事例紹介やロールプレイングを通じて築かれたネットワークは、今後の自身の展開に向けた貴重なつながりとなりました。

(兵庫県 食サービス Y.K)

普段の業務では、「食農」に関する部分的な関与になりがちなところ、改めて多角的な観点から学び直すヒントを多く得る事が出来ました。実務としてこの分野の最前線で活躍する方のお話を聞きすることができ、視野の広がる示唆に富んだ講座やワークショップでした。これから食Pro.にチャレンジする人だけでなく、食Pro.として活躍している方々にも有益な機会だと思います。

懇親会でビジネス面での交流が出来たこともよかったです。

(東京都 コンサルタント Y.M)



各回講師陣との意見交換や参加者同士の交流にも力を入れています。

この講座を受講して、最前線で活躍されている様々な講師の方のお話を聞くことができました。その中で学んだことは、狭義の6次産業化に捉われないこと、視野を広く持たなければならないということでした。商品を作って、売って、儲けるだけではなく、地域をどうしていくかという視点が求められます。

現在私の持っている段位はプロレベルではありませんが、今後プロレベルの段位取得に向けて、努力していきたいと思います。

(千葉県 T.Y)

## 参加した認定審査員の感想

受講者の皆様がビジネスプラン構築に真摯に取り組んだことがプレゼンテーションからうかがえました。

この講座の様に、自らの理念実現に向けた取り組みを、専門家がフォローすることで、真のプロ感覚を備えていく機会になると思います。

より地域に密着した受講者の姿勢が備わると良いなと思いました。

(岡山県 コンサルタント N.F)



2024年4月13日パソナ農援隊東京本社にて、プロ養成講座受講生の皆様が、現在携わっている事業又はこれから携わろうとしている事業を発表されました。

『ヒトを感動させて動いてもらうには、「なぜそうしたのか?」という納得感のあるマーケティング分析と同時に、その事業への熱い思いがなければならない』

8か月間のプロ養成講座で学ばれたスキルを活用されての、ロジカルかつ熱量のこもった皆様のプレゼンを拝聴して、そう感じた貴重な1日でした。

(千葉県 食品安全コンサルタント H.N)



複数のトッププロたちから、それぞれの分野での最新事例や成功のポイントを直接聞ける大変貴重な機会だと思います。

アドバイスを聞いた上で、参加者自身の取組について振り返りを行うため、それぞれの地域に良い変化が起こるキッカケになると感じました。

(福岡県 コンサルタント M.I)